

報道関係者各位

令和 8 年 5 月 22 日
山梨県立産業技術短期大学校
事務局長 佐原 淳仁
電話 0553-32-5200

学生が外国人観光客にインタビュー 実践的なインバウンド教育、地域の課題解決にも貢献

山梨県立産業技術短期大学校観光ビジネス科では、ホテルや旅行会社など県内観光業界で活躍できる、おもてなしのプロを育成しています。

このたび、増加する訪日外国人観光客への対応力を高めるため、外国人観光客が多く訪れる河口湖駅や浅間公園で、実際に訪れている外国人観光客へのインタビューを行う実践的な授業を実施します。

報道関係者におかれましては、取材へのご協力をお願いいたします。

- (1) 日 時 令和 8 年 5 月 29 日 (金) 9 時 30 分から 12 時
- (2) 場 所 富士急行線 河口湖駅敷地内 (9 時 30 分～12 時)
新倉山浅間公園「忠霊塔」周辺 (14 時 30 分～15 時 30 分)
- (3) 参 加 者 産業技術短期大学校 9 名 (観光ビジネス科 2 年 学生 9 名、職員 2 名)
- (4) 当日の内容
・外国人観光客へのインタビュー (1 人 10 名程度)、インバウンド受入環境の調査 など

【インバウンドへのインタビュー授業 概要】

観光ビジネス科 2 年前期の「インバウンド」の授業では、山梨を訪れた外国人観光客を対象に、出身国・地域や滞在期間などについてインタビュー調査を行っています。昨年度は、107 名の外国人観光客にオーバーツーリズムに関する意識などの質問を実施し、その結果を一般社団法人 富士河口湖町観光連盟 (代表理事 堀内 貴文) と共有しました。これらのデータは、同連盟に加盟する企業で活用されています。今年度も、地域にとって有益となる質問項目を追加し、観光振興に寄与する調査を実施する予定です。

○授業の紹介

「インバウンド」の授業は、外国人観光客に必要なサービスや観光案内に適切に提供ができる能力の習得を目的としています。講義形式の授業に加え、今回のインタビュー調査のように、実際の外国人観光客とコミュニケーションを図る体験的型の学びを取り入れて実施しています。

今回は、広い視点での学びとして、6 月に東京・浅草でインタビュー調査を実施し、山梨と都内における外国人観光客の傾向比較を行う予定です。

また、山梨県観光文化・スポーツ部で国際観光に携わる職員や、(一社) 富士河口湖町観光連盟の職員など、インバウンド分野に精通したゲストスピーカーによる講義も予定しています。

【問い合わせ先】
山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス科 田代
(代表) 0553-32-5200